



令和3年9月30日(No.9)

小金井市立南小学校

Tel 383-1149 Fax 382-2049

くじらぐも Tel 385-6310

自ら考える

校長 黒田昭二

「人間は考える葦である」といったのは、フランスの哲学者 パスカルで、「人間は自然の中では弱い生き物に過ぎないが、考えることによって偉大な存在となる」ということを言い表しているそうです。

自ら考えるということは、人が生きていく上で大切な土台となります。他の人から言われたからそのとおりに思ってしまふ、あるいは、自分で判断せずに、言われたとおりに行動してしまうなど、思わぬ落とし穴があるかもしれません。先日の新聞紙上に、「SNS の情報をうのみにして行動したため家庭が崩壊寸前になってしまった」という特集記事が載っていました。自ら考え、そしてよりよく判断することの大切さを改めて指摘していました。

ところで、2年ぶりに6年生による「全国学力・学習状況調査」が行われ、国語及び算数の調査結果と、児童質問紙の集計結果が届きました。国語及び算数の調査結果は良好でした。また、児童質問紙は質問項目が全部で69あり、(1) 家庭での生活のこと、(2) 自分自身に関すること、(3) 学習への取り組み方や授業に関することに大別されます。この児童質問紙集計結果から数点ピックアップいたします。

まずは「学校の授業時間以外の読書量」という項目について、本校児童は東京都・全国より高くなっています。また、「新聞を読んでいますか」の項目も同様です。本を読む、新聞を読むということは、自分の考えを深めるためにはとても大切なことです。これからも続けていっ

てほしいと思います。「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」という項目もぐんと高くなっています。社会への関心が高くとても感心します。

授業に関する項目において「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」「自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしていますか」「あきらめずにいろいろな方法を考えますか」「自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか」などの項目も高くなっています。日頃から自分の考えをまとめている、また、考えを表出しようとしているという子供たちの姿勢が垣間見え、この点でも感心しました。さらに、「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」のポイントも高くなっており、日頃の授業が子供たちの学習姿勢を形づくっていることが分かります。話し合い活動自体は現在制約がありますが、今後とも子供たち相互のよさを生かすことのできる教育活動を進めてまいります。

明日から10月に入り、緊急事態宣言が解除されました。宣言解除後の教育活動につきましては裏面に掲載しております。「学校の新しい生活様式」を継続しながら、日々の教育活動や学校行事をできる範囲で充実させていきます。今後とも保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。